

都市整備公社まちづくりセンター準備室 ☎(3993)8011(代) 公社ホームページ http://www.zai-ntk.or.jp/

まちづくりセンター

開設に向けて



「まちづくりセンター構想(案)」がまとまりました

区民や学識経験者などをメンバーとする、まちづくりセンター検討会議では、練馬区におけるまちづくりセンターの役割や機能などについて、6月から検討してきました。そして11月4日の第7回検討会議で「まちづくりセンター構想(案)」(以下「構想案」)が取りまとめられました。

センターの理念

まちづくりセンターは、練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するために、区民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、区民・事業者・行政から独立し連携を図る、中間的な立場から協働型まちづくり事業を実践します。

区民のためのセンター

センターは、従来の都市計画の枠を超え、区民主体の身近な生活空間形成に関わる活動に対する支援を行います。

区民・事業者・行政をつなぐ役割を担うセンター

センターは、区民・事業者・行政をつなぎ、さらに協働の仕組みづくりをめざします。

まちづくり専門家の組織としてのセンター

センターは大学や研究機関、他のセンター、NPO等と連携し、情報交換することによって、練馬区の課題に対処していきます。

まちづくりセンターの5つの機能

練馬区の地域課題に対応できるセンター

センターは、練馬区におけるまちづくりの課題を解決するために、さまざまな活動を行います。特に、みどり空間の保全・創出は、重点事業として取り組みます。

区民のまちづくりネットワークを育むセンター

区民のまちづくり活動が、相互に連携することにより、区民の課題解決能力の向上が期待されることから、センターはこれらの活動のネットワーク化をサポートします。

センターの事業

- まちづくりに関する情報提供・学習機会の提供
- 区民主体の活動に対する支援
- 相談、調査・研究
- 情報や活動のプラットフォーム事業
- みどりに関する取り組み

コメント

検討会議を終えて



卯月盛夫 検討会議座長

三嶽暁夫 公社理事長

練馬区の地域性をどうやって生かせるかを考えながら会議を進めてきました。他のセンターに見られない内容も盛り込んだので、センターの開設およびその後の発展に期待します。

委員の方々には5ヶ月間に渡り、センター構想策定のための議論をしていただきました。今後はご提言を胸に公社役職員一同、センター開設に向けて努力していきます。

専門研究員の気ままなコラム

まちづくり

まちづくりの「ま」

・まちを歩いてみよう

1 まちあるきの道具
 いよいよまちに出ることにします。まずは、必要な道具を用意します。地図：場所を確認するための地図には、ひとつずつの建物が記されている「住宅地図」が便利です。(図書館などにあります)。まちに出る前に地図を見ながら、歩くコースを決めてみましょう。
 カメラ：まちで発見した内容を撮影します。歩いた後の地図づくりに写真が間に合うことが大事なので、事前に確認をしましょう(普通のカメラならば現像の早いお店の確認、デジタルカメラはプリンターの用意、インスタントカメラが使いやすい)。
 筆記用具：メモをする紙とペン、歩きながらメモをするために画板やクリップボードがあると便利です。そのほか：テーマに合わせて、高さや長さの測るためにメジャーや定規、まちにあるバリアを確認するために車いすやベビーカーなどを用意してもよいです。



2 まちあるきのポイント
 さて、今度こそ出発しましょう。以前紹介しましたが、以下の点に気をつけましょう。
 新しい発見をするためにゆっくり・じっくり歩きましょう。まちのよい点(資源)やよくない点(課題)を探するために、普段生活しているまちを改めて見つめ直してみよう。
 気づきを共有しましょう。立場が違うことでまちの見方が違うことがあります。歩きながら気が付いたことがあったら、みんなで立ち止まり、撮影をして、意見交換しましょう。
 * 記録をきちんととりましょう。おしゃべりに気をとられて、記録を忘れないようにしましょう。メモや撮影の役割分担をしてもよいでしょう。
 * 次回はいよいよまちあるきの成果をまとめましょう。



杉崎和久 都市整備公社 専門研究員 (まちづくり担当)

都市整備公社で、区民のみなさんのみどりづくり、まちづくりのお手伝いをしています。ご質問等がありましたら、ぜひお寄せください。

みどり

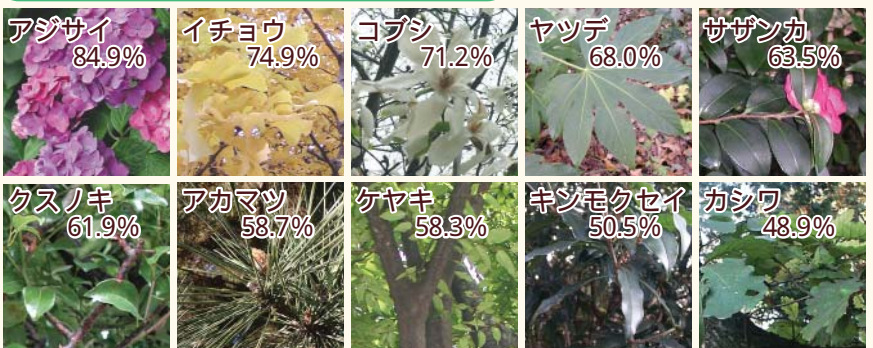
葉っぱの水

都市における樹木の効用は、夏の高い気温をやわらげる効果や防火効果などさまざま。その多くは葉がたくさん着ている部分「樹冠(じゅかん)」で発揮されると考えられます。そして葉が生きているために重要な水は、その大部分が根から出ている細かい根毛(こんもう)から吸い上げられ、葉や幹に貯えられます。では、葉っぱはどのくらいの割合で水でしょうか？
 過去の4人の研究(1948、2004/全178種)から、葉っぱは45%~85%が水で、平均すると63%程度であることが分かっています。そして「科」では、モクレン科、ウコギ科、クワ科、ミズキ科などの含水率が高く、イネ科、ブナ科、バラ科、ニレ科などが低い傾向があります。樹木の効用と樹葉含水率とは深い関係がありそうですが、じつはまだよく分かっていません。だから一緒に研究しませんか？



岩崎哲也 都市整備公社 専門研究員 (みどり担当)

葉っぱはどのくらいの割合が水分？



岩崎哲也(2005)防火的視点からみた各種樹葉の含水率に関する研究より作成

(仮称)練馬みどりを育む機構

からのお知らせ

ご来場ありがとうございました

練馬まつり

10月16日(日)は、あいにくの雨で会場となった練馬総合運動場も足元は良くありませんでしたが「葉っぱグッズとブック」を販売して、18,304円を葉っぱ基金へ寄付させていただきました。

ねりまグリーンフェスティバル

10月23日(日)は、とても良いお天気で爽やかな秋晴れのもと、7千人近い人々が会場の花とみどりの相談所・四季の香公園を訪れました。私たち準備会のテントでは今回も「葉っぱグッズとブック」を販売、65,432円を葉っぱ基金に寄付させていただきました。

練馬みどりの葉っぱ基金キャラクター人気投票も行いました！
 1,421人のご参加をいただきました。この投票結果をもとに現在、キャラクターの選考をすすめています。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

(仮称)練馬みどりを育む機構は...

現在 区民+区準備会
 練馬区の緑被地は10年間で約200haが失われています。豊島園の約7.5倍！
 緑被地=樹木や草などのみどりにおおわれた土地のことです

平成18年3月発足予定 「みどりを守る区民団体」
 (仮称)練馬みどりを育む機構 募金活動
 樹林地の買い取り 普及啓発調査・研究活動 ボランティア活動への支援 など

問合せ 練馬区公園緑地課みどりを育む基金主査 ☎(3993)1111(代)

編集後記

2002年8月に連載を始めた「ねりまの駅めぐり」シリーズも、21回目の今号で最終回を迎えました。春夏秋冬、地図とカメラを片手にあの街この街と歩き回っているうちに、いつしかまち歩きが自分のライフスタイルになっていました。身近な町で、外見逃しがちなもの。このシリーズをきつかけにして、旅人気分でも、わが町再発見の小さな旅を始めたいだけならば幸いです。こもれび編集室

広告募集

掲載料 4面1コマにつき 15,750円(消費税込)
 サイズ 縦42ミリ×横80ミリ

広告料等詳細については、(財)練馬区都市整備公社こもれび編集室まで、お問い合わせ下さい。 ☎(3993)8011(代)